

USD / JPY (6/25) ドル強気相場に、ただ119円半ばには大きな抵抗線



コメント

先週の値動き＝円安ドル高。やや上値が重い展開も、木曜日以降、ドルが急伸した。

今週の指標＝木曜日に米FOMC政策金利。最大の注目。さらに、金曜日には日本のCPIが発表される。

テクニカル＝ドル堅調。長期的な12ヶ月移動平均線も上抜けし、ブル相場に。テクニカル的には、ドルサポートの指標が目立つ。ただ、仮にドルが引き続き堅調に推移した場合も、119円半ばには長期的な抵抗線であり、昨年12月のドル上昇を止めた下落トレンドラインが位置する。ここを上抜けなければ、下落の可能性はまだ低くない。

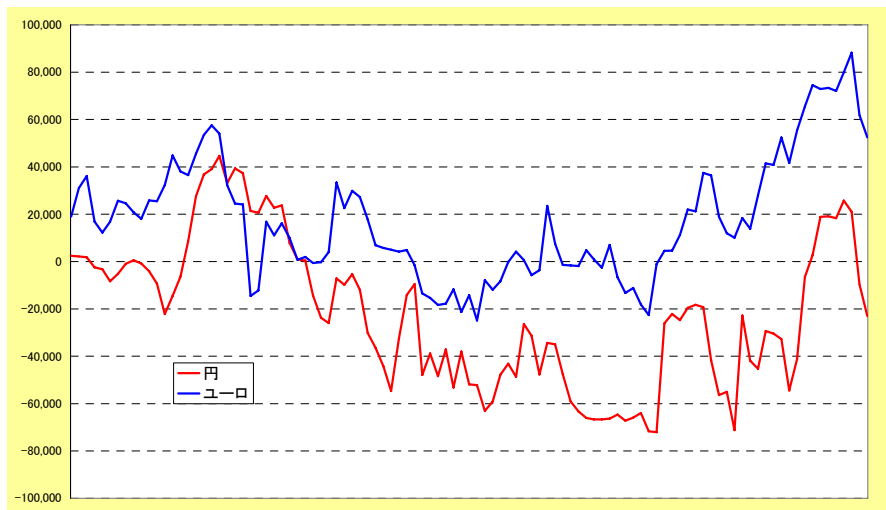
テクニカル・レート

+2σ =	= 120.54円	先週始値 = 115.14円
下落トレンドライン	= 119.50円近辺	先週高値 = 116.59円
12ヶ月移動平均線	= 115.36円	先週安値 = 114.36円
-2σ =	= 110.18円	先週終値 = 116.52円

今週の投資例

トレンド＝上昇
 現在値＝116.52円
 押し目買いも、米FOMC、日CPIを前に今更ドル買いは厳しい。保有している方は、ストップを114-115円台に入れながら保有継続か。

投機筋はドル買い基調強まる、木曜日は注目の米FOMC

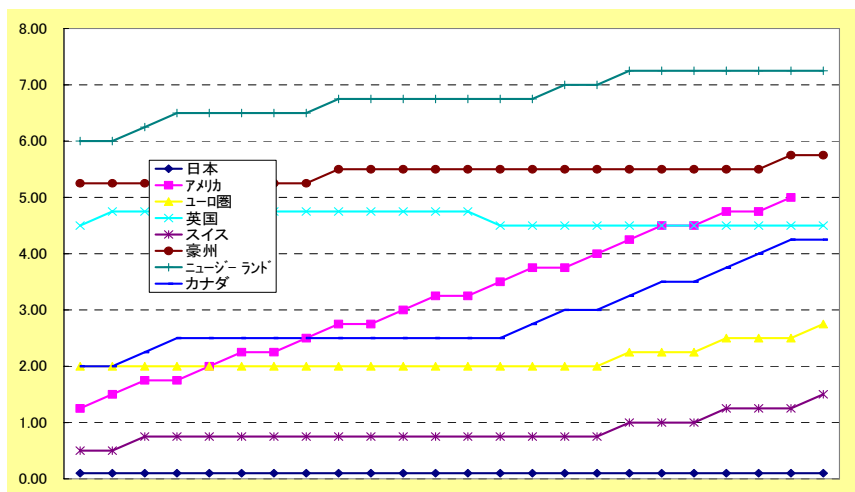


IMM投機筋ポジション動向

6月20日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲2.3万枚。先週より約1.3万枚拡大して、再び売り基調が強まっている。20日の終値は114.82円。直近6月23日の終値は116.52円。一段と拡大していそうだ。

一方、ユーロの買い越しは先週より約0.9万枚縮小し、約5.2万枚。20日が1.2597ドル。23日が1.2504ドル。拡大か。

円は直近2週間で4万枚も売りに転じており、さらに売り持ちが拡大している模様。日本のアナリストはドル高に懐疑的だが、米投機筋は明らかに円売りで投資をしていたことが分かる。



各国金利動向

先週は政策金利の発表はなかった。ただ、福井日銀総裁の村上ファンドへの抛出问题で、日本の利上げ観測後退が生まれ円安に。その後、日銀の利上げについては様々な思惑が働いている。また、英中銀で唯一の利上げ派であったウォルトン氏の死去により、ポンドが売られる展開。いずれもドルサポートとなった。

今週は、29日(木)に注目のビッグイベント米FOMCがある。利上げは折込済みだが、ドル高が進む中、一層のドルサポートとなるか、天井となるか、注目される。